

人間形成論

2 単位 3 年 (後期)

木内 陽一・非常勤講師 / 鳴門教育大学

【授業目的】人間形成の様態を、哲学的、思想史的立場から考究する。

⇒ 木内 (kiuchi@naruto-u.ac.jp) MAIL

【授業概要】人間形成論の立場から見た西田幾多郎の哲学

【キーワード】西田幾多郎, 京都学派の哲学, 教育哲学, 教育思想史

【履修上の注意】近代日本哲学の代表者のひとり、西田幾多郎 (1870-1945) の著作を読んで、近代日本の哲学思想、人間形成論の一端に触れてみましょう。哲学や思想史の知識がなくても、興味があれば受講して下さい。

【到達目標】「人間形成」論の成立した、歴史的・社会的状況がわかる/近代の人間観の概要がわかる/初期の西田哲学の概要がわかる

【授業計画】

1. はじめに一なぜ「人間形成」は「問題」になるのか?
2. 近代の人間観—イマヌエル・カントの事例
3. 近代人間形成論の展開 (1)—中世から近代へ
4. 近代人間形成論の展開 (2)—19 世紀から現代へ
5. 外国人が見た近代日本の文化と教育—ラフカディオ・ハーンの事例 (1)
6. 外国人が見た近代日本の文化と教育—ラフカディオ・ハーンの事例 (2)
7. 人間形成論としての西田哲学—西田幾多郎の人と思想
8. 「実在」とは何か (1)
9. 「実在」とは何か (2)
10. 「純粹経験」を考える (1)
11. 「純粹経験」考える (2)
12. 「善」とは何か (1)
13. 「善」とは何か (2)
14. 西田の宗教観 (1)
15. 西田の宗教観 (2)
16. まとめ—人間形成論としての西田哲学

【成績評価】レポートの提出を求める。

【再試験】口述試験をおこなう。

【教科書】西田幾多郎 (全注釈:小坂国継)『善の研究』(講談社学術文庫)(本書には岩波文庫版もあるが、全注釈がついた講談社学術文庫版を購入してほしい。)

【参考書】参考文献は、授業中に紹介する。また、必要な資料はプリントを配布する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219097>

【連絡先】